

## 20周年に寄せて（メンバーからのひとこと）

この20年、自分にもいろいろな事がありました。一心と共に成長できた20年と感慨深い気持ちになっています。日々の業務はハードですが、ご利用者の笑顔に励まされ、メンバーと共に仕事に頑張っています。これからの一心がどのように変化していくのか楽しみ！世の中の荒波にもまれ、辛い時や苦しい時があるかと思いますが、みんなで協力し乗り切っていきたいなと思っています。次に向けてGOー！！

<中野真理子>

交流会のデザート担当です。趣味はお菓子作りで、普段は事務の仕事をしていますが、10年ぐらい前から交流会の焼き菓子等を作っています。材料をそろえ、焼き上げ、食後の息抜きにお出ししています。準備や皆さまが食べられるよう工夫する等大変なこともあります。「美味しかった」の一言をいただくと、「作ってよかった！！」と感じます。まだまだ未熟者ですが、これからもがんばっていききたいと思います。

<藤倉和美>



### 20周年記念式典の様子



一心で仕事を始めてまだ数年ですが、始めたばかりの頃の出来事。利用者様が散歩をするというので、歩行器を使って自宅周辺を少し歩きましょうとゆっくり歩き始めました。戻れなくなると大変なので途中で帰りましょうと声かけをしたのですが、調子がでてきたのでしょね、ひと回りできる道を歩いて帰ると言い出してどんどん進んで行ってしまっって…案の定、残り 1/3 のところで歩けなくなってしまいました。座れるところを探して座っていただき、その間に慌てて車椅子を取りに戻る事になってしまいました。大事に至らなくて良かったのですが、上手な声かけができていたらこんなことにならなかったのになあ…と思いました。

<水野仁美>

5年前、近い将来やってくる親の介護に役立つと思い、ヘルパー2級の資格を取りました。その時は、仕事をするつもりはありませんでした。研修も大変だったので、私にはムリとの思いもありました。ある日、タウン紙の一心の広告が目に入りました。何となく気になり、説明会に参加し、「ここだ！」と入会を決めていました。最初は失敗しないかと緊張の日々でしたが、利用者の方々、ご家族の方々の優しい言葉に助けられました。今、親の介護真っ只中。くじけそうになることもありますが、利用者の方々の元気な顔に会える事とメンバーの方々に支えられながら、頑張っていきたいと思えます。

<塩見芳子>



一心に入会させて頂いて、あっという間に2年が過ぎました。8年前転居先でシックハウスになり2年間の療養生活の後これからは生涯のライフワークになる仕事がしたいと思い介護の仕事を始めました。ある種の化学物質にアレルギーが残り訪問の仕事が本当に出来るのか不安からのスタートでしたが意外にも大丈夫でした。移動時は四季の自然を感じ街の雑踏にも季節を感じ自転車こぎで体力もつきました。仕事では失敗の連続で先輩方のサポートのおかげでここまでやって来られました。8年前は寝たり起きたりの私が社会復帰でき、普通に働ける体のありがたさを噛みしめている今日この頃です。これからもよろしくお願い致します。

<岩門茂子>

朝起きて、今日のスケジュールを確認して、忘れずに行きますコールの電話をし、忘れることなく、遅れることなくご利用者様のところに伺えるように自転車を飛ばす日々。角を曲がる時などドキリとすることも幾度となくあり、毎日、何事もなく無事に終わられることがどれだけありがたいことか、と実感しています。最近、「ベテランさんのねえ。」と言われることもあります。経験は一心の歴史の半分にも満たない私。少しでも長く歴史にかかわれるように、元気で事故の無いように気を付けて過ごします。

<梅澤恭子>

一心に入会して六年目になりますが、頭をフル回転させて多くのことを学ばせていただいたと思えます。調理では限られた時間で、お一人分の献立を考えて安全に食べやすく、しかも少し美味しく作ることは今でも大変です。買い物も頼まれた品物が無かった時や、同じ物でも一番希望に添えるのはどれかと悩んだりしました。また、ご利用者の方から伺う貴重な体験談からは感動することも沢山あります。何より、介護の仕事を通して皆さんに会えたことと、支援させていただくという感謝の気持ちを学べたことは、本当に良かったと思えます。

<鈴木恵子>



20周年記念誌